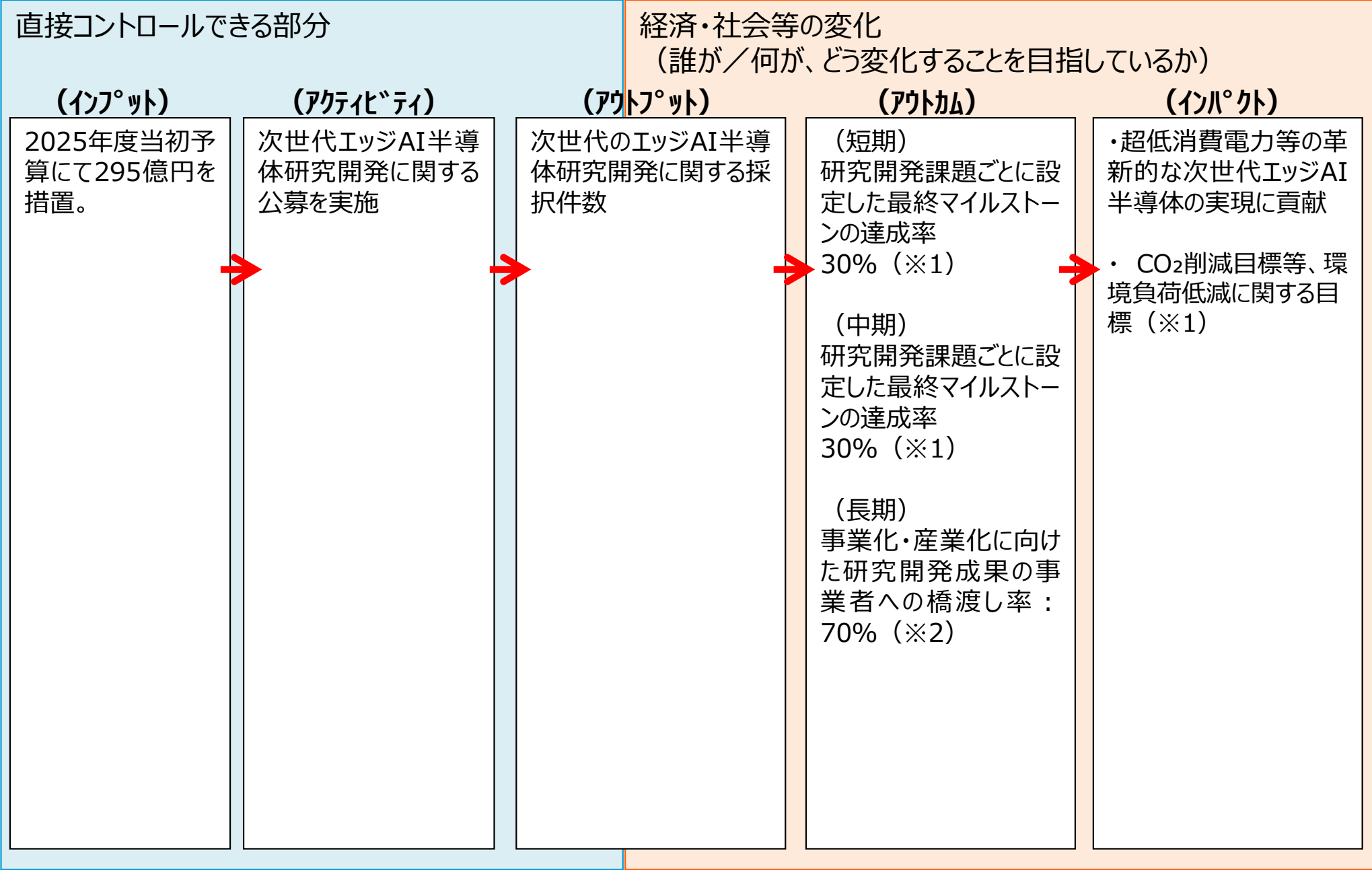


事業名：次世代エッジAI半導体研究開発事業



※1 今後、有識者等との意見交換に基づきより定量的かつ適切な数値・測定対象に見直しを実施

※2 中期アウトカム達成課題数に対する割合（全採択課題のうち20%程度）

事業名：次世代エッジAI半導体研究開発事業

基金の名称	革新的GX技術創出事業基金
基金事業の名称	次世代エッジAI半導体研究開発事業
事業の目的	本事業では、アカデミアのシーズを活用することで従来では達成困難な超低消費電力等の革新的な次世代エッジAI半導体の実現に貢献する。
現状・課題	近年、データ処理量の急増に伴い、クラウド側での消費電力の増大が大きな課題となっており、エッジ側での高度な情報処理を可能とするAI半導体の飛躍的な性能向上が必要となっている。
事業の概要	超低消費電力等の革新的な次世代エッジAI半導体に必要となる設計、製造、材料などの技術に関して、既存の産業あるいは2030年代中盤以降に求められる新たな産業からバックキャストした技術のうち、アカデミアが行うべき技術について、産業界への速やかな橋渡しを意識した研究開発を行う。
基金方式の必要性	本事業は、従来技術の延長では達成困難な性能の実現に向けて、アカデミアのシーズレベルから研究開発を開始し、事業終了時点では事業者への橋渡しまでを目指す、チャレンジングであり研究開発フェーズが広範且つ長期間にわたる事業である。 革新的な次世代エッジAI半導体の研究開発においては、前述の通り従来技術では達成困難な性能を目指す性質上、成果に応じた次フェーズの早期着手や初期開発では想定しえなかった実用化に向けた課題等への追加的な検証、それに伴う支出を機動的に実施することがその次世代エッジAI半導体の実現において重要。 したがって、当該事業においては、各年度の所要額をあらかじめ見込みがたく、複数年度にわたる財源を確保し弾力的な支出を実現し、安定的かつ効率的な開発を実施することが必要。
予算措置額	295億円